

令和5年度有明高等学校学校評価報告書

有明高等学校
校長 井手秀孝

本校では、生徒の学校生活をより充実したものにするとともに、地域に愛される学校づくりを推進している。これらを実現するための取り組みの一環として、生徒、保護者、そして教職員対象の学校評価アンケートを実施し、その結果をもとに教職員による組織的な自己評価を行い、今後の改善点について考察した。本報告書では以下の項目に関して述べる。また、本報告書を設置者に提出し、設置者所見を添付する。

- ・本年度の重点目標
- ・項目の設定
- ・アンケート項目と結果および自己評価
- ・総合評価
- ・次年度への課題、改善方策

○本年度の重点目標

各教員の取り組むべき方向性を明確にするるとともに、日々の指導に役立てるようになるために、具体的かつ明確な重点目標を設定した。

- ・重点目標1
基本的な生活習慣および生活態度の向上（あいさつ、掃除、言葉づかい、身だしなみなど）
- ・重点目標2
学力向上に向けた授業の「質」の向上
- ・重点目標3
生徒の自発的学習への意識の向上
- ・重点目標4
健康で充実した学校生活のための環境づくり
- ・重点目標5
生徒および保護者が納得できる進路保障の取り組み

○項目の設定

重点目標の達成のための具体的な取組等を評価するために以下の項目を設定した。以下に教務、生徒指導、進路指導ごとの項目を示す。

- ・教務に関して（関連する重点目標1，2，3）
 - ・授業時間の厳守

- ・授業における説明、板書、発問などの実施方法
- ・生徒の発達段階に即した指導
- ・図書館の計画的利用や読書活動の推進の取り組み
- ・教科指導に関する教職員間の情報交換
- ・生徒指導に関して（関連する重点目標1，4）
 - ・学校の教職員全体として生徒指導に取り組む体制の整備の状況
 - ・教職員の問題行動等への対応（保護者への対応を含む）の状況
 - ・学校行事や部活動を通じて、自ら考え、自主的・自律的に行動できるとともに、自らの言動に責任を負うことが出来る指導
 - ・教職員による生徒の交通安全への向上を図るための取り組み
- ・進路指導に関して（関連する重点目標5）
 - ・資格取得や検定試験へ組織的に取り組む体制の整備
 - ・生徒の能力・適性等を発見するための工夫
 - ・職場体験活動や就業体験が適切に実施されている

○アンケート項目と結果および自己評価

今年度の学校評価アンケートは、令和5年12月に実施することができた。アンケート対象が、1, 2, 3年生の生徒およびその保護者、そして教員とした。対象人数は、生徒452名、保護者452名、教職員43名であった。保護者に関しては、兄弟姉妹の存在は考慮せず、生徒数と同人数とした。アンケートの回答数は、生徒437名、保護者390名、教職員42名であり、回収率は、生徒97%、保護者86%、教職員98%であった。

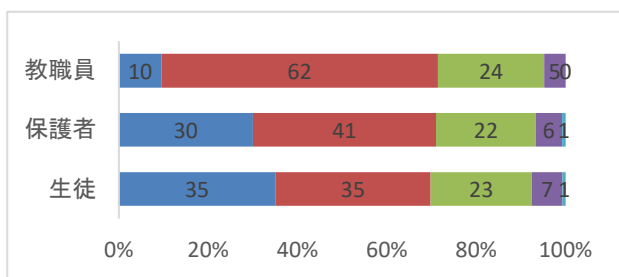
アンケート結果の評価方法としては、回答選択肢において、「そう思う」「ややそう思う」を肯定的回答とし、肯定的回答が70%を超えることを目標とした。

グラフにおける凡例は表の左から順に■そう思う、■ややそう思う、■どちらでもない、■あまりそう思わない、■そう思わない、を表し、表中の数値はそれぞれの割合をパーセント表示した。

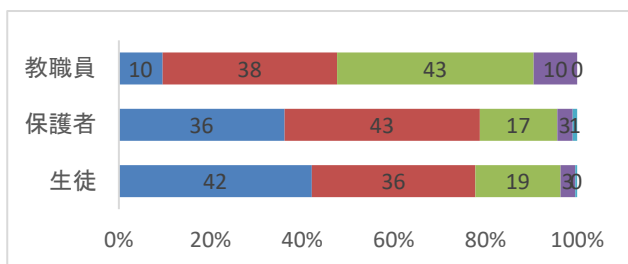
・重点目標1

基本的な生活習慣および生活態度の向上(あいさつ、掃除、言葉づかい、身だしなみなど)

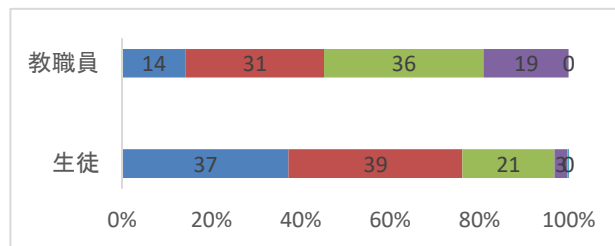
Q1. 生徒(あなた)にとって、学校生活は全般的に満足であると思いますか。



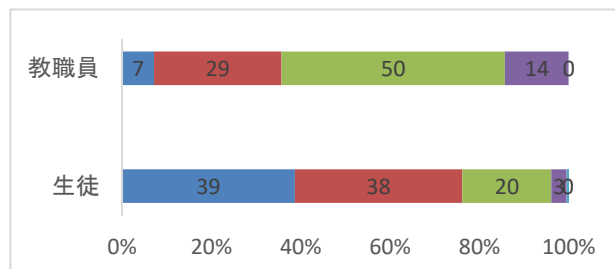
Q2. 生徒(あなた)は、あいさつをしっかりとっていると思いますか。



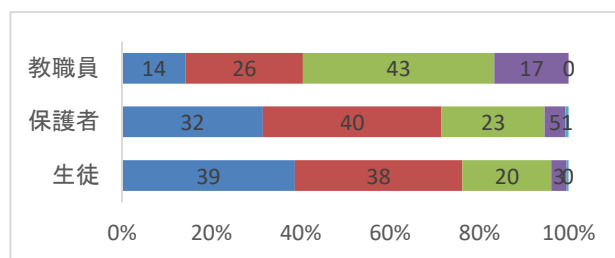
Q3. 生徒(あなた)は、掃除にしっかりと取り組んでいると思いますか。



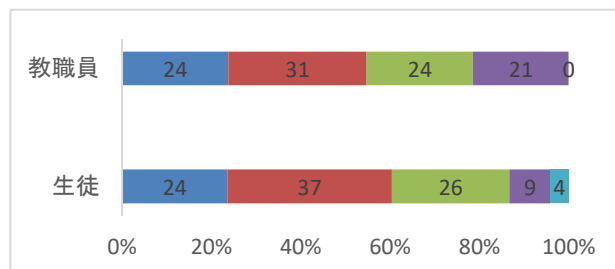
Q4. 生徒(あなた)は、有高生としての自覚をもって生活していると思いますか。



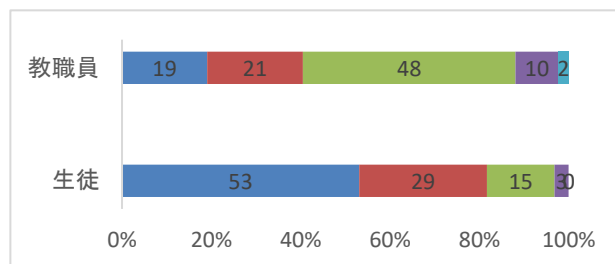
Q5. 生徒(あなた)は、目標をもって日々の学校生活をすごしているとおもいますか。



Q6. 生徒(あなた)は、学校の施設・設備は学習環境の面で充実していると思いますか。



Q7. 生徒(あなた)は、8時35分登校や授業開始の時間を守っているとおもいますか。



・重点目標1のアンケート結果に対する自己評価

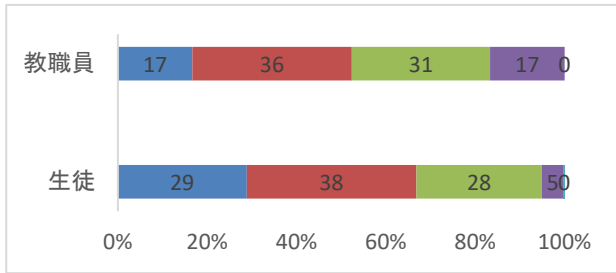
ほとんどの質問において生徒や保護者から

高い評価を得た。しかし、それに比べると教員の評価は低くなっており、この点に関しては、教員の意見を聞きながら、改善できるように取り組む必要がある。

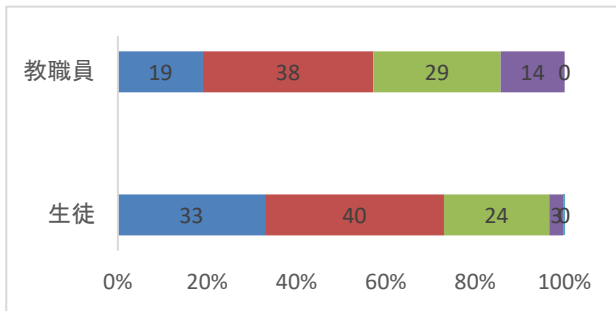
・重点目標 2

学力向上に向けた授業の「質」の向上

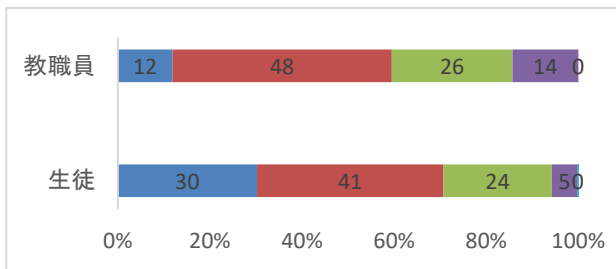
Q8. 先生の授業の進め方には、工夫がみられると思いますか。



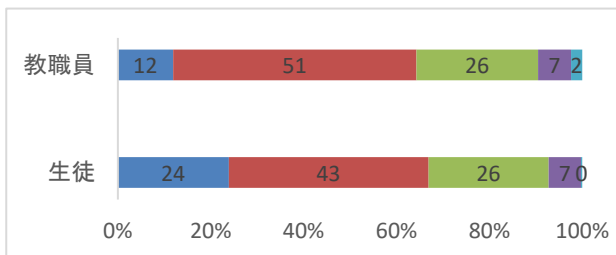
Q9. 先生は、学力向上のために学習内容を熱心に教えていると思いますか。



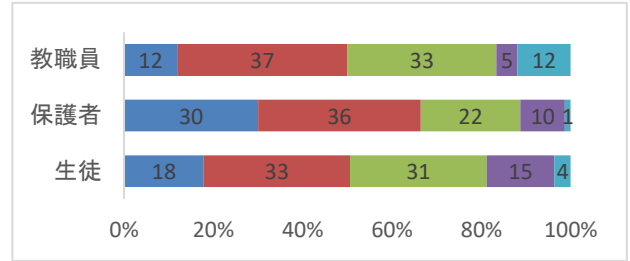
Q10. 授業内容は、生徒（あなた）の進学や就職を考えたうえで満足できるものですか。



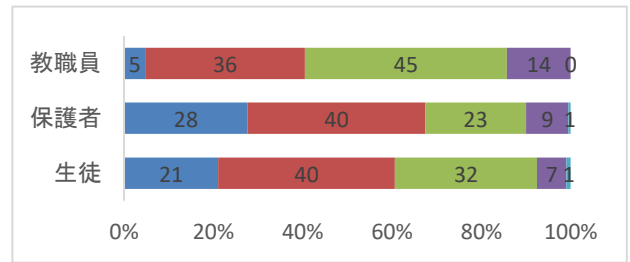
Q11. 授業は、わかりやすく、理解できていると思いますか。



Q12. 生徒（あなた）は、家庭学習をしていると思いますか。



Q13. 生徒（あなた）は、授業を通して、学力が向上していると思いますか。



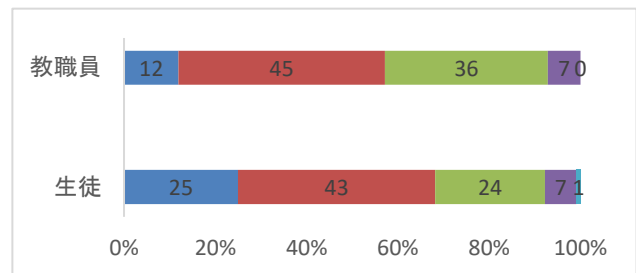
・重点目標 2 のアンケート結果に対する自己評価

教員の授業に対する姿勢や授業のレベルへの生徒の評価は比較的高くなっている。しかし、授業に対する工夫や生徒の理解度に関しては課題がみられた。これらの結果から、授業方法の改善と学力向上につながる取り組みなどが今後必要である。

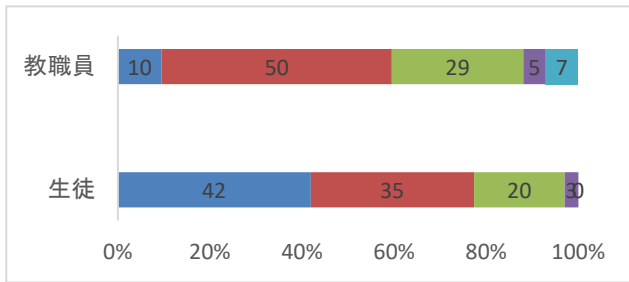
・重点目標 3

生徒の自発的学習への意識の向上

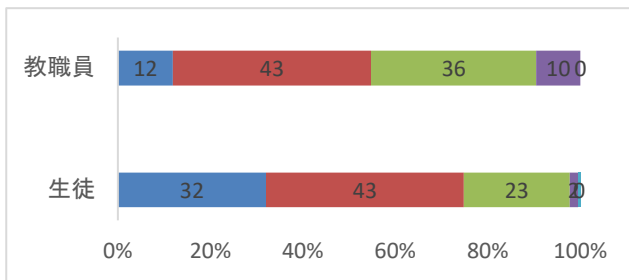
Q14. 生徒（あなた）は授業に集中できる環境だと思いますか。



Q15. 生徒（あなた）は、朝読書を有意義に活用していると思いますか。



Q16. 生徒（あなた）は、授業に積極的に取り組んでいると思いますか。



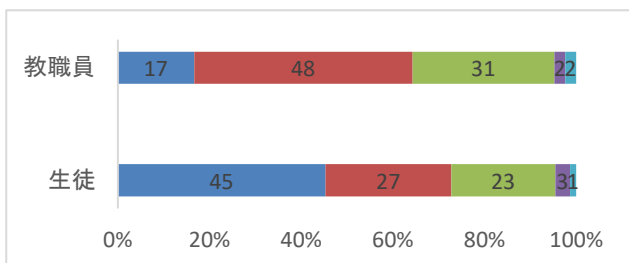
・重点目標3のアンケート結果に対する自己評価

生徒の授業への積極性はある、学習に集中できる環境であるものの、家庭学習の定着ができていないことが明らかとなった。今後、生徒の学習習慣の定着を意識した取り組みが必要である。

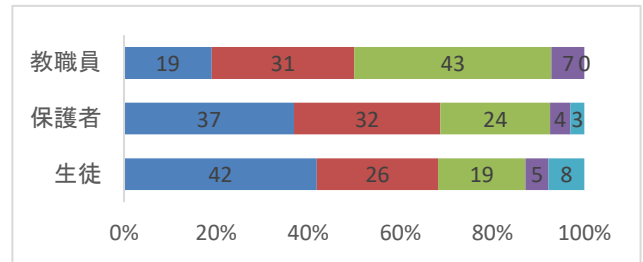
・重点目標4

健康で充実した学校生活のための環境づくり

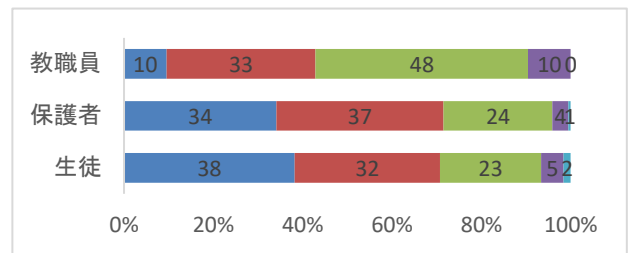
Q17. 生徒（あなた）は、歓迎遠足や体育大会等の学校行事に積極的に取り組んでいると思いますか。



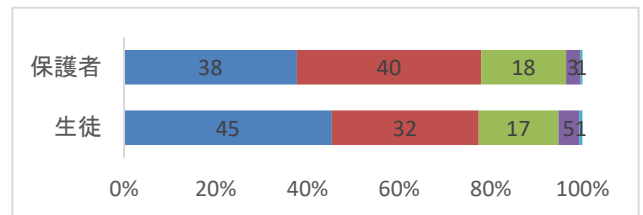
Q18. 生徒（あなた）は、部活動に熱心に取り組んでいると思いますか。



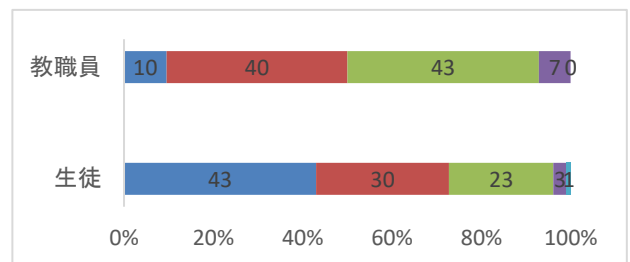
Q19. 先生は、生徒（あなた）の悩みや相談に親身に応じていると思いますか。



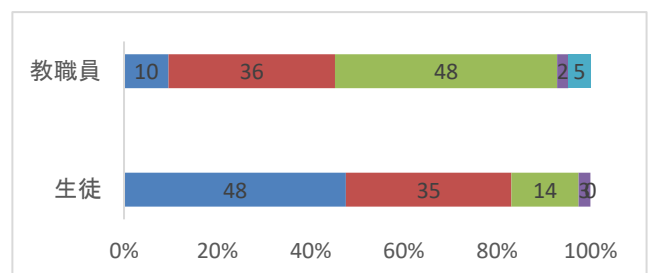
Q20. 生徒（あなた）は、本校の生徒と良い交友関係を築いてると思いますか。



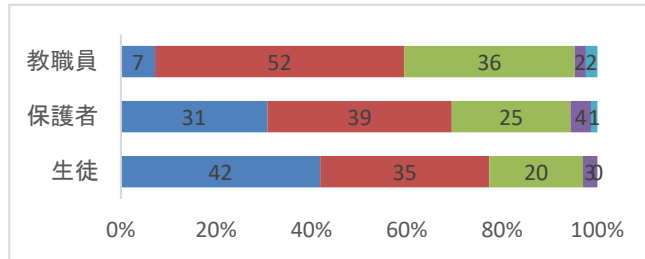
Q21. 学校が行っている交通指導（自転車、バイク指導も含む）は、適切であると思いますか。



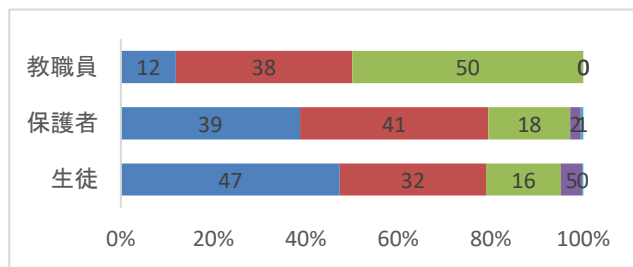
Q22. 生徒（あなた）は、学校生活においてモラルやルールを守っていると思いますか。



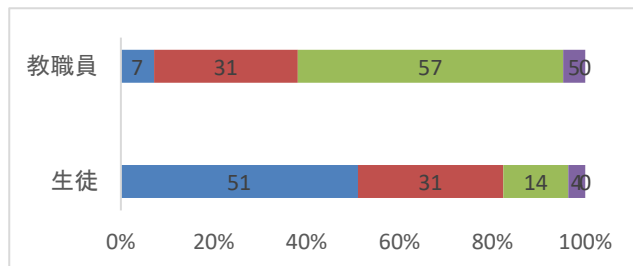
Q23. 生徒（あなた）は、言葉づかいが適切であると思いますか。



Q24. 生徒（あなた）は、服装・頭髪をきちんとしていていると思いますか。



Q25. 生徒（あなた）は施設や設備を丁寧に使用していると思いますか。



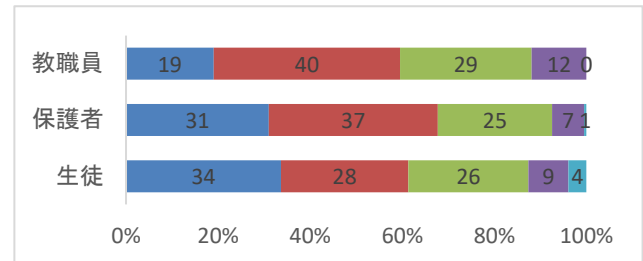
・重点目標 4 のアンケート結果に対する自己評価

令和 4 年度後半はコロナ感染も終息に向かい、令和 5 年度は学校行事なども平常に戻ることができた。しかし、気持ちの面では平常時に至らない状況が続いている。このことから、肯定的意見が目標に達していなかったと考えられる。

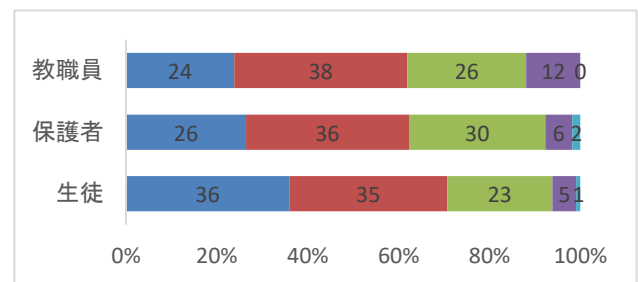
・重点目標 5

生徒および保護者が納得できる進路保障の取り組み

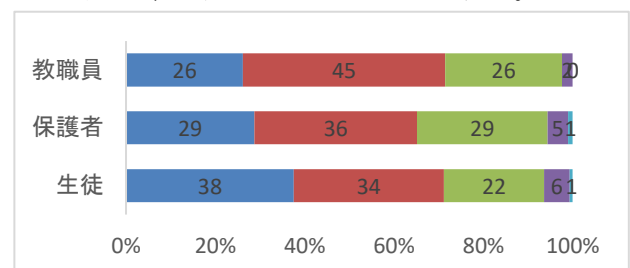
Q26. 生徒（あなた）は、進路実現に向けて、資格取得や検定試験に取り組んでいると思いますか。



Q27. 学校は、生徒（あなた）へ進路についての十分な情報を知らせていると思いますか。



Q28. 学校は、進路についての指導・面談を一人一人丁寧にやっていると思いますか。



・重点目標 5 のアンケート結果に対する自己評価

今年度のアンケートも全学年で実施できた。昨年よりは評価がやや高くなっていた。それでも 1、2 年次における進路指導およびその情報発信の改善が更に必要であると考えられる。

保護者への一斉メール等も定着し、保護者への連絡は以前に比べると充実していると考えていたが、肯定的意見は目標に届かなかった。様々な情報を一斉メールのみならずホームページ等も充実させて発信する必要がある。一方、教員の連

携に関しては低い結果となり、改善のための取り組みが必要である。

○総合評価

今年度のアンケートは、全学年の生徒とその保護者および教員を対象に行った。アンケートの結果において、“そう思う”、“ややそう思う”の肯定的な回答が40%を超えるものが、昨年よりも、やや増加した。ただ生徒と保護者の評価より教員の評価が低くなる傾向が引き続き見られるのが課題である。

重点目標1の基本的な生活習慣および生活態度の向上に対して、生徒や保護者の評価は高いが、それに比べると教員の評価は低くなった。

重点目標2の学力向上に向けた授業の「質」の向上に対して、教員の授業に対する姿勢や授業のレベルへの生徒の評価は高かった。しかし、授業に対する工夫や生徒の理解度に関しては課題がみられた。

重点目標3の生徒の自発的学習への意識の向上に対して、生徒の授業への積極性があり、学習に集中できる環境であるものの、家庭学習の定着が来ていない結果となった。

重点目標4の健康で充実した学校生活のための環境づくりに対して、令和4年度まではコロナ禍の状況であり、令和5年度は学校行事や部活動など制限はなくなってきていたが、肯定的な回答は目標に達していなかった。

重点目標5の生徒および保護者が納得できる進路保障の取り組みに対して、今年度のアンケートが全学年であったこともあり、例年に比べると評価が高くなっていた。

○次年度への課題、改善方策

教務

- ・課題
 - ・読書量の低さ（朝読書）
 - ・先生方の達成感
 - ・寮生の環境
- ・改善方策
 - ・授業の公開と研究協議、授業参観
 - ・新学習指導要項の理解とICTなどの活用

- ・教科会議の充実
- ・朝読書の徹底(先生方が範を示す)

生徒指導

- ・課題
 - ・生徒の主体性の促進
 - ・生徒の相談を先生が親身になって受けていると感じている割合の向上
- ・改善方策
 - ・一人ひとりの生徒に対して、見て・接して・親身になり、相談等に応じられる環境づくり
 - ・HRでのコミュニティの強化

進路指導

- ・課題
 - ・学力の向上
- ・改善方策
 - ・家庭学習の必要性を生徒自身が感じる授業展開
 - ・基礎学力の定着
 - ・家庭学習の強化（ICTの活用）

設置者所見

本校は今年、令和6年で創立 63 周年を迎えました。

本校の教育理念は「知育・徳育・体育」の調和のとれた教育で、社会に貢献する人物を育成することです。本校には学科として、普通科、看護科、福祉科、そして機械科、電気情報科の五つがあります。また進学率、就職率は昨年度も 100%を達成していますし、普通科特進コースでは2年連続で国立大学に合格しています。

また、本校では ICT 教育にも積極的に取り組んでいます。その一つとして、スタディサプリというソフトを利用して、生徒の学力レベルを確認したり、レベルに応じた宿題を先生が一斉に配信して、学び直しを行ったりしています。

設備の面では2年前に新しい体育館が完成し、また今年は人工芝のコートが完成しました。これはサッカー一部の練習用のコートですが、フットサルコートも2面利用できます。校舎のトイレも来年度中に改築してウォッシュレットの数を増やし、そして新しい寮も建設しています。また、今年度中には弓道場も新しく建設する予定です。さらに来年度から本校の制服も変わります。

今回の令和5年度の学校評価アンケートの結果につきましては、令和4年度の結果と比較して進路保障関係では、生徒、保護者、教職員とも改善された項目もありましたが、授業の質に関する項目は、評価が下がっているものもあります。また、教職員の評価が今年度も低い項目が見受けられ、今後の課題として捉える必要があると考えています。特に学校運営で最も重要な授業の改善に向けての取り組みが必要であります。理事長としまして、本校の教育理念を教職員全体に浸透させていくことに力を尽くしていきたいと考えています。

令和 6 年12 月 16 日

学校法人 有明学園

理事長 井手 秀孝